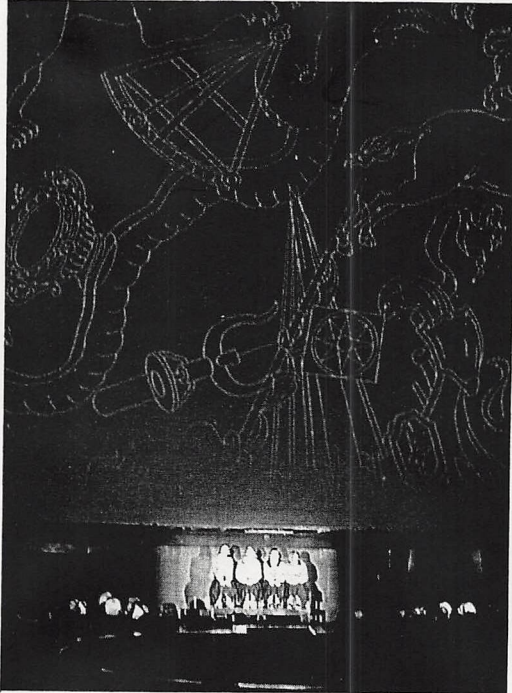


星座の映写を生かした演出で物語が進んだ



FUNAYOMI

# 船橋 よみうり

2019年(平成31年)

3/23

No.1233

(sat)

(株)船橋よみうり新聞社

## プラネタリウムで熱演

船橋市総合教育センタープラネタリウム館で10日、葛飾中の演劇部が特別公演を開き、150人の市民らを前に熱演した。

「星王の反対側」と題した物語で、ギリシャ神話を星座の映写を用いて演出。プラネタリウムを訪れた心に傷を持つ転入生が、同級生らと感情をぶつけ合いながら徐々に打ち解けていく筋書きだ。主演の沖元美紀さん(2年)は「星座の物語と中学生のいじめ問題をかけて、固まっていた心をどのように溶かすかを考えて演技した」と汗を拭いた。

同館を舞台に中学生が演じるのは、15年の御滝中以来、4年ぶり2回目。今回の作品の脚本は

当時、御滝中演劇部の顧問だった戸澤文生教諭(9)が「プラネタリウム向け」に書き下ろし、温めてきたもの。葛飾中は同教諭の母校でもあり、顧問らの協力で今回の特別公演が実現した。

葛飾中演劇部は26日から神奈川県で開催される関東中学校演劇コンクールに船橋地区代表として出場する。